

# 岐阜の中小企業、インドの金型産業強化に挑む

## 岐阜多田精機、JICA と連携し調査へ

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社岐阜多田精機(岐阜県岐阜市、多田憲生代表取締役社長)が提案する「モジュール金型のエンジニア育成にかか  
る案件化調査」(インド)を採択しました。

「Make in India(インドで作ろう)」を合言葉に製造業の発展による雇用創出と輸出競争力強化に取り組むインドには、自動車産業を筆頭に日系企業が多数進出しています。しかし、製造業の基盤となる金型の品質は十分ではなく、原材料・部品の現地調達率はタイ、中国等に比較し低くとどまっています。

(株)岐阜多田精機はインド国内にあるエンジニア人材育成機関において、金型エンジニアリング人材の育成に向け調査を開始します。現地人材の育成が進み、金型の品質向上と低コスト化が進むことで、多くの日系企業の現地調達率が上がり、競争力強化が期待されるとともに、インド国内での裾野産業の品質向上に伴うインド製造業の輸出競争力強化につながることを期待されます。



協力先機関訪問時の様子



現地人材育成校での金型製作風景

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行いました。36 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2016 年度第 2 回公示の採択結果について

URL:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 市民参加協力課 担当 前島、谷口

TEL : 052-533-1387 (平日 9:30-17:45) E-mail : jicacbic-psp@jica.go.jp